

助産婦雑誌 第15巻 総目次

1961年(第1号~第12号)

〔口 絵〕

	号
島の助産婦	1
会陰保護とその要領	1
新しい産科病棟の新しい試み	2
炭住街の家族計画をみる	3
各国乳幼児外科見てある記	4
いらつしやい太郎ちゃん	5
ヨーロッパの母子衛生	6
母親学級をこう運営する	
(1) 妊娠の生理	7
(2) 妊娠中の衛生	8
(3) 妊娠中の衛生と栄養	9
(4) 分娩の準備と経過	10
(5) 育児と赤ちゃんの沐浴	11
(6) 産褥の摂生	12

〔今月の言葉〕

助産婦学院講師の立場から	竹内 繁喜	1
今月の言葉	保良 せき	2
ある助産活動	永 野 貞	3
人工妊娠中絶と生命の尊さ	H・マルティニーニ	4
数理的表現	八木日出雄	5
母性の教育は学校で	大島 正雄	6
私の 願 い	渡辺モトエ	7
我が国の母体死亡について思う	木下 正一	8
今月の言葉	小原 良衛	9
患者の人間性への考慮を	伊藤 隆子	10
日本一の勉強ぶり	木下 正一	11
誇りある仕事のために	林 塩	12

〔研 究〕

新生児眼底出血について	松谷芳子・菊池君枝	1
産褥時高血圧症		
について	相良サク・藤代とよの・斎藤富瀬	1
脳ヘルニアを伴った骨盤位分娩の1例に		
ついて	坪内登美子	2
モーレ流産後に発生した絨毛上皮腫の転		
移による?死亡例	野見山トシエ	3
双胎分娩に起つた子癇の症例	山中 小梅	3

胎動減少について……………一色ヤエ子… 3
未熟児をめぐる

(1) 未熟児出生の社会的背景	柄沢 良子	4
(2) 未熟児の養育指導について	村松 みさ	4
(3) 福井県における未熟児の発育		
調査	福井県助産婦会教育委員会	4
妊娠中の乳房の取扱いについて	鈴木八重子	5
新生児室における新生児の1週間の変化		
とその所見	長瀬 法子	6
妊産婦の情緒と看護の問題について	田間恵美子	6
こうきたい助産婦の言葉づかい		
と態度	山本 笑子	6
妊産婦の入浴指導について	瀬谷 美子	7
分娩第Ⅱ期に発生した皮下気腫に遭		
て遇し	橋本美代子	7
子宮發育不全と子宮後屈を伴う		

働く婦人の正常分娩例 (1)…………吉田 ナホ…10, 11
分娩介助時における会陰状態について…中井 英子…11
妊娠中毒症の分娩経過について
南野智恵子・花井マルエ・鳥越一子…12

〔講 座〕

最近における新生児生下時体重の実態と		
推移とについて	福居 謙三	1
新生児の肺硝子様膜症について	菅井 正朝	1
新生児保育基準の1例	東北大学新生児研究部	1
ギネコグラフィ	松下 清一	2
エックス線と胎児	栗冠 正利	2
事例分析の実際 (1)	田中 恒男	2
胎位胎勢講座		
(1) 後方後頭位分娩について	山 田 衛	3
(2) 骨盤位分娩における児の予後	名取 光博	3
(3) 試験分娩と児頭骨盤均衡度	遠藤 幸三	3
予定日超過の統計的観察	竹下 俊雄	4
習慣性流早産患者の統計的		
観察	渡辺金三郎・飯田茂樹	4
分娩予定日超過に関するレ線学的		
研究	細川国次郎・松田 勲	4
流早産時における内分泌		
について	西島義一・上野良亮	4

妊産婦の生理から

- (1) 妊娠、分娩時の呼吸(肺換気能)
について……………森 武 史… 5
- (2) 分娩時の異常出血に対する実地
対策…品川信良・菊池岩雄・土屋俊夫… 5
- (3) 褥婦における「カルシウム」の
代謝の研究……………渡辺金三郎・梅林昌彦… 5
- 新生児のなきごえの分析について……………小国 親久… 6
- 新生児及び未熟児の発汗機能について…亀 山 孝… 6
- 薬剤による胎児赤芽球症の予防
について……………田中 正久… 7
- 新生児の頭蓋内出血
について……………藤平治夫・金井徳博… 7
- 赤ちゃんを中心とした産科学……………伴 一 郎
- (1) われわれの理想…………… 7
- (2) 分娩損傷による頭蓋内出血とその対策……………10
- (3) " ……………11
- (4) " ……………12
- 超音波反射法の産婦人科領域応用……………石原 啓男… 8
- 特集・妊娠中毒
- 母性衛生からみた妊娠中毒症(疫学的ア
プローチ)……………辻 達 彦… 9
- 母性衛生より見た妊娠中毒症(臨床面よ
り)……………松本 清一… 9
- 妊娠中毒症の看護……………森 幸… 9
- 妊娠中毒症のおそれある妊婦の保健指導
……………相良 サク… 9
- 妊娠中毒症の眼症状……………梶 利 一… 9
- 妊娠中毒症の外来治療について<共同研
究>……………藤沢俊子・松本澄代・茂田晃代
岸本静家・福田フミエ…………… 9
- 子癇及び子癇前症の治療について……………山 下 卓… 9
- 妊娠中毒症後遺症の新しい検討……………田中 敏晴… 9
- 事例分析の実際(2)……………田中 恒男… 9
- 妊娠と他科疾患(1)―耳鼻科―……………鈴木 徳重…11
- シリコーン・ラバーチューブによる水頭症
の治療……………千ヶ崎裕夫…11
- 無脳児の診断……………竹 村 喬…12
- 妊娠と他科疾患(2)―歯―……………美濃口 玄…12
- 胎盤に関する新知見……………九嶋 勝司…12

〔連 載〕

- 妊産婦の保健指導の実際……………青木 康子… 2～ 8
10～12

- 新しい助産婦のモラルをたずねて…大島 正雄… 5～ 8
10～12
- 助産所経営の手引き……………勝島 喜美… 7～ 8
10～12

〔解 説〕

- 職業婦人の結婚と妊娠……………塚 本 哲… 2
- 母子健康センター運営について……………久下 定重…10
- 学生実習の在り方……………入江 博子…11
- アメリカの無痛分娩法を語る……………森 武 史…12

〔座 談 会〕

- 妊産婦保健指導をめぐる新春四方山ばなし
辻 達 彦・小 柳 琴・萩野 博
青木 康子・竹内 繁喜・安斎 静子
木下 正一…………… 1
- 花咲くかみがた助産婦業
山下かしよ・篠山 鶴恵・広垣 ハツ
浜田 ふじ・山崎 シズ・大島 正雄… 4
- こんな問題をかかえながら
萩野 博・青木 康子・田戸八寿子… 6
- 教育制度をどうこう言われたつて
小沢 礼子・大島 正雄… 7
- 子供を扱う立場から
―「私は赤ちゃん」をめぐつて―
松田 道雄・森 幸・田中 淳子
三好 孝代・島崎 寛子・星野 泰子
吉 開 稔・石原 隆良……………8,10
- 近代の風の中に立つ紀の国の助産婦さん
山口利三郎・藤原 敬三・崎山 えい
藤川 昌子・片岡ささえ・石川あさの
速水みさえ・栗栖 清子・大島 正雄…11
- 母親学級を終るにあたって
名取 光博・新田 ユキ…12

〔レ ポ ー ト〕

- 母性から助産婦への関心……………鈴木 豊子… 1
- 3床の助産所開業に際して要する費用
及び設計の報告書
中沢 昭子・津川 春美・阿部 久子
池田ハツエ・伊達 文子・矢口 真貴
菅 晴 子・松村 恭子・内山 倫子… 2
- 妊婦保健指導に関する 2, 3 の問題点…小沢 礼子… 4
- 石川県受胎調節指導員再教育講習会
報告(1)……………杉本外喜子… 8

燕市母子健康センター設立の経過と利用

状況	柳原 正明	8
石川県受胎調節指導員再教育講習会		
報告(2)	杉本外喜子	8

〔カンファレンス〕

微弱陣痛とその処置	竹村 喬・他	5
分娩の誘発について	竹村 喬・他	8

〔母子センターだより〕

岡山県奈義勝北町	福永あきの	1
本郷町母子健康センターについて	川崎 トシ	2
群馬県笠懸村母子健康センターを見学		
して	原 エミ子	6
戸田町母子健康センター	遠藤 長吉	7

〔ルポ・紀行記・随筆〕

北四国の助産院をたずねて	石原 隆良	3
大阪に誕生した協同助産院	石原 隆良	5
信濃路の印象記	増沢志げ子	1
下北、津軽紀行	竹内 繁喜	2
ソ連に旅して	松尾 正雄	3

〔アンケート・トピック〕

新生児は小児科に移すべきか(続)	1
母性保健指導の徹底のために	2
新生児訪問指導と3歳児検診の実施	浅野 一雄 4

〔一般記事〕

お産のべし・べからず	1,4,5
排泄の習慣づけとおむつについて	平松 園江 3
助産婦の地位と役割	山本 笑子 3
故松宮乃婦先生の告別式に参列して	安芸 季子 3
松宮さんの告別式に参列して	長谷川 泉 3
今後の受胎調節のありかた	大谷ショウ 6
受胎調節実地指導で感じたこと	鎌田 英夫 6
私の描く助産婦学校の専任教員	
のすがた	志賀タカ子 6
デパートに芽をふいた“ママの健康相談	
室”	服部 千秋 7
助産婦の新しい職場にたつて	内山 芳子 7
ソビエトの産院風景	北上 幸雄 7
金沢市石田助産院を訪ねる	杉本外喜子 8
琉球の助産婦さん	大城 宏美 8



新フェノチアジン系

精神神経安定・制吐剤

PZC
ピーゼットシー

内科神経科領域に……PZCの鎮静作用はクロルプロマジンの約5倍も強力で、且つ急性毒性は弱く消化器、血液及び肝障害は少い。長期間の投薬を必要とする神経症、精神分裂症等の治療に好適である。神経症には1日量8～12mgを投与する。
産婦人科領域に……PZCの制吐作用はクロルプロマジンの15～20倍も強力で、且つ自律神経系への影響が少く、血圧低下便秘、口渴等の副作用が少い。又催眠作用も弱いのでつわり等の悪心、嘔吐に極めて効果的である。この場合普通1日6～12mgの投与で充分である。

〔包装〕(2mg)100錠,1000錠 (4mg)100錠,1000錠 (8mg)500錠,1000錠



製造 吉富製薬株式会社

販売 武田薬品工業株式会社 (P13)